

決意新たに 防災誓う 平成28年菊陽町消防団出初式

菊陽町消防団出初式を1月17日、菊陽杉並木公園ふれあい広場で行いました。

指揮者の命令と指示を隊員が聞き取り、正確に行動する「通常点検」や高さ14メートルの火元に見立てた玉に放水する「標的落とし競技」を実施。消防団員460人が防災への決意を新たにしました。

もみじ園、なかよし園、白菊園、白鈴園の園児は分列行進と通常点検を実施。みんなで元気いっぱい「防火の誓い」を宣誓しました。



1 6人で協力して勢いよく放水し、玉を落とす団員2保護者に見守られる中、2列に分かれて分列行進をする保育園児3通常点検を受ける第5分団

成績は次の通りです。

- 規律服装の部
 - 【優勝】 第4分団
 - 【2位】 第5分団
 - 【3位】 第3分団
- 機械器具の部
 - 【優勝】 第4分団
 - 【2位】 第5分団
 - 【3位】 第1分団
- 標的落としの部
 - 【優勝】 第5分団第2班 入道水
 - 【2位】 第2分団第5班 津留大堀木
 - 【3位】 第2分団第1班 上中代

○出初式の表彰者名簿(敬称略)

- 消防庁長官表彰
 - 【永年勤続功労賞】 副団長：有村英敏
 - 【日本消防協会定例表彰】
 - 【精進章】 団長：大野慶一郎
 - 【勤続章】 第3分団：内藤文紀、第5分団：坂本秀則
 - 県知事定例表彰
 - 【永年勤続功労章】 第1分団：上村祐一
 - 県消防協会長定例表彰
 - 【功績章】 第1分団：坂本浩一、森田正臣、中原憲太郎、吉山将司、岩下淳、第3分団：高山秀樹、園田強、第4分団：松永純一、那須啄弥、渡邊将一、第5分団：鹿子木正明、鹿子木康浩、相馬信一
 - 【勤続章】 第1分団：森田哲生、上村貴彦、奥村宏範、西村優彦、西村祐二、第2分団：田崎隼人、宮川孝之、島川真一、阪本辰徳、阪本優、瀬上寛史、第4分団：狩野裕規、第5分団：西川政孝、笠大輔
 - 県消防協会菊池郡支部長定例表彰
 - 【優良消防分団表彰】 第4分団
 - 【優良消防分団員】
 - 第1分団：榎田貴史、酒井俊一郎、本田博史、田島賢一郎、第2分団：津村和宏、矢野隆弘、第4分団：佐藤太祐、第5分団：上野健成、西川和将、竹田純、紫藤熨太、丸林孝郎、本部機動隊：益満基
 - 菊陽町長定例表彰
 - 【前消防分団長感謝状】
 - 福岡博信、島川貴文、東矢浩伸、大久保学、齊藤大典
 - 【優良消防分団員】
 - 第1分団：榎田貴史、嶋田敬之、松野和宏、上村幸二、西村優章、第2分団：島村徹、福島康仁、上田健実、関晴夫、西本元気、畑中和実、藤本直己、井上玲、宮崎俊明、第3分団：松本力、藤川晃喜、溝川裕教、白石和彦、第4分団：山邊浩也、松本晃吉、中村光孝、第5分団：堀川大助、佐藤文彦、相馬直哉
 - 消防庁長官表彰(銀杯)
 - 【勤続25年以上退職消防団員】
 - 第1分団：野口弘一郎、第2分団：南正光、第3分団：吉本孝寿、内藤文紀、内藤優誠、第4分団：松永優二
 - 【勤続15年以上退職消防団員】
 - 第1分団：嶋田康昭、上村幸成、林裕史、第2分団：鎌田日佐虎、豊住純也、後藤正隆、河北真利、宮崎一孝、油布博士、第3分団：嶽本和清、吉永弘人、吉村仁孝、平征一郎、第5分団：大住憲一郎、紫藤弘行、佐藤竜一

地域に根差した物流基地へ (株)大福物流と立地協定締結

町は食品の管理、配送などを行う(株)大福物流と物流センター立地に関する協定の調印式を12月17日、光の森町民センターで行いました。後藤三雄町長は「地域活性化につながるよう町も連携していきたい」とあいさつ。藤田章社長は「地域に根差し、地域発展に貢献できるよう尽力したい」と話しました。立会人の菊陽南小学校区長会長・高田孝章会長は「地元からの雇用に配慮してもらいたい」と期待を込めました。



▲(左から)藤田章社長、高田孝章会長、後藤三雄町長

活発な意見交換 総合計画策定審議会を開催

総合計画策定審議会第1回会議を12月22日、菊陽町役場で開催しました。委員は17人で会長には熊本県立大学の明石照久教授を選出。町長から諮問を受けた審議会は、町民の皆さんの意見を基に、総合計画策定委員会と協議した後期基本計画の素案について説明を受けました。

町は住民懇談会を1月19日・21日に開催し、素案について説明しました。後期基本計画はことし3月までに策定する予定です。



▲会長の明石照久教授(左)と後藤三雄町長

ご協力ありがとうございました 菊陽町屋久島災害義援金のご報告

菊陽町屋久島災害義援金実行委員会は、姉妹都市・屋久島町口永良部島新岳噴火の被災者支援のため、昨年6月から義援金を受け付けてきました。本町の受付は屋久島町の受付終了に伴い、12月18日に終了。同委員会は町内外から多くの皆さんのご協力が集まった総額200万2,191円を屋久島町に送りました。この義援金は屋久島町災害義援金配分委員会を通じて、被災された口永良部島島民に配分されます。



▲荒木耕治屋久島町長に義援金を渡す後藤三雄町長(左)

♪音楽さんまい♪プロの演奏を満喫 第5回みんなで大きくようコンサート

第5回みんなで大きくようコンサートを12月23日、図書館ホールで行いました。県立劇場の「演奏家派遣アウトリーチ事業」の助成で菊陽町図書館ホールの自主文化事業として実施。ヴァイオリン・サクソフォーン・ピアノのプロの演奏家「トリオ・コロレ」がアンサンブルやソロ演奏を披露しました。西小学校音楽部との共演や司書による絵本の読み聞かせとのコラボ演奏なども披露され、300人の観客を魅了しました。



▲プロの演奏家と共演する西小学校音楽部



地域住民が交流

花立区「炊き出し・餅つき大会」

花立区の炊き出し・餅つき大会が1月17日、花立公民館で開催されました。地域住民約100人が参加。老人会や子供会、地域住民が力を合わせ、杵と臼で新年の願いを込めて元気いっぱい餅をつき、餅を丸めて味わいました。役員や組長による里芋のバター煮・カレーうどんの炊き出しも行われ、参加者は「おいしい」と舌鼓を打っていました。花立区に住む安田美穂さんは「毎年貴重な体験ができてうれしい。今後も参加したい」と交流を楽しんでいました。



▲力いっぱい餅をつく花立区の住民

ことしも健康に

下津久礼子ども会「どんどや」

下津久礼区の住民約50人が1月10日、下津久礼グラウンドでどんどやの火を囲みながら無病息災を祈りました。区の役員と子ども会の保護者が高さ約15mのどんどやを作り、子どもたちが約3mのどんどやを製作。午後1時に点火され、持ち寄ったしめ縄や正月飾りなどが燃やされました。その後、残り火で焼いた餅をぜんざいにして味わっていました。点火した中部小6年生の吉川維咲さんは「ことし中学生になるので何事にも楽しく頑張りたい」と話していました。



▲どんどやに火を点けて無病息災を祈る下津久礼区

地域に顔の見える関係を

九州電力(株)大津営業所が清掃活動

九州電力(株)大津営業所の社員20人が11月20日、菊陽杉並木公園ふれあい広場で清掃活動をしました。同社は地域貢献活動の一環で、例年、営業所管内の市町村でボランティア活動を実施。地域のニーズに沿って、社員が地域の道路や公園公共施設などの清掃、ごみ拾いなどを行っています。今回は、社員が公園内の照明設備やテーブル、案内看板を清掃しました。同社の渡邊勲所長は「地域に親しまれ、顔の見える活動を目指しています」と話していました。



▲照明設備を丁寧に清掃する大津営業所の社員

銀イオンで歯をピカピカに

株愛歯が歯磨き剤「ピカティース」を贈呈

義歯や銀歯、歯列矯正装置などを作っている株愛歯の高橋昌平代表取締役が12月9日、菊陽町役場に来庁し、関連会社(株)ピカッシュが開発した歯磨き剤「ピカティース」を贈呈しました。ピカティースはナノ銀イオンを用いた歯磨き剤で、歯垢除去や歯石の沈着防止などに高い効果を発揮します。高橋代表取締役は「菊陽町で開発された歯磨き剤です。菊陽町の特産品として販売することで町の知名度向上と活性化に貢献できるようにしたい」と抱負を語りました。



▲ピカティースを贈呈する高橋昌平代表取締役(左)

無病息災、五穀豊穡を願う

正月の伝統行事「綱引きともぐら打ち」

大堀木区の住民約100人が1月10日、同区グラウンドで綱引きともぐら打ちを行いました。午前9時から矢野成之さん指導の下、長さ約9mの大綱を練り上げ菅原神社に奉納。お神酒をあげた後、正午から男子対女子、子ども対大人で何度も綱を引いていました。

ぜんざいやカレーライスを食べた交流を楽しんだ後、もぐら打ちも行われました。わらの棒を持った子どもたちが「十三日のもぐら打ちは田畑行け!」と各家の地面を打ち、もぐらが敷地に入らないように願いました。矢野光幸区長は「行事を通して絆も深まって。ずっと続けんといかん」と目を細めました。

津留区でも十五夜の綱引きともぐら打ちが行われました。綱引きは1月10日に開催。午前9時から長さ約12m、直径約25mmの綱が練り上げられました。約30人が地蔵堂前で大人対子ども、区の西と東に分かれ、綱を引きました。8人の子どもたちは13日の午後7時からもぐら打ちを行いました。菊陽中2年生の井上史穂さんは「無事にやりきれて良かった。後の子どもたちにしっかり継いでほしい」と話しました。



▲力いっぱい綱を引く大堀木区の子もたち



▲威勢よくもぐら打ちをする津留区の子もたち

グラウンドを探検

ビンゴオリエンテーリング

菊陽町ジュニアリーダーと武蔵ヶ丘小学童・元気クラブの約60人が12月25日、同校グラウンドでビンゴオリエンテーリングを行いました。ジュニアリーダーは6月から研修を重ね、今回が7回目の活動。児童は10班に分かれ、探検の地図を片手に隠された25カ所のチェックポイントを探し回りました。菊陽中2年生のジュニアリーダー・宮本紋安さんは「普段小学生と関わらないので、きょうだいみたいに接してくれてうれしかった。また参加したい」と話していました。



▲菊陽町ジュニアリーダーとじゃんけん勝負をする児童

音楽あふれる菊陽町に

菊陽町ミュージックフェスタ

第1回菊陽町ミュージックフェスタが12月20日、菊陽町図書館ホールで開催されました。

ホールには400人が来場。この催しには、町内小学校、中学校の器楽・吹奏楽部や合唱部、社会人の音楽関係計8団体が参加。合唱や器楽・吹奏楽合奏、ステージマーチングやアンサンブル演奏などが披露され、観客を魅了しました。最後に全員で「にんじんのまち菊陽」を大合奏すると、迫力あるサウンドと美しい歌声が会場に響きわたりました。



▲出場団体による迫力の合同演奏「にんじんのまち菊陽」